博物館 topics

那覇市歴史博物館特別展示
国宝「玉冠（ぎょくかん）」秋の特別公開のお知らせ

那覇市歴史博物館では、秋の特別公開として11月1日（金）～13日（水）に国宝「玉冠」を展示します。

「玉冠」は琉球国王の正装の冠で、皮弁冠（ひべんかん）ともよばれ、沖縄の方言でタマンチャーブイともいいます。1427年に中国の明の皇帝から初めて下賜され、以来明代の間13人の国王冊封（さっぽう）（国王認証式）の際に皮弁服（ひべんふく）と共に贈られました。

現在博物館で保管している玉冠は、表面が黒縮緬で覆われ、その上に金糸で12条の筋を縫い、各金筋に24個ずつ合計288個の玉が鋲で留められています。玉は金・銀・水晶・碧玉・珊瑚などの7種類が用いられています。金簪の頭の部分には、双龍と火炎宝珠が精密に打ち出されています。

戦前まではこの玉冠の他に1個または2個の玉冠が尚家で保管されていた事が写真や証言で確認されています。しかし、沖縄戦で行方が分からなくなり、現存している玉冠はこれが世界で唯一のものとなっています。

11月は玉冠と共に、重要な儀式で着用された赤地唐衣裳（11月1日（金）～13日（水））と青地唐衣裳（11月15日（金）～27日（水））を展示します。世界にただ二つの玉冠と唐衣裳をこの機会にぜひご覧ください。

▲国宝「玉冠」

展示のお知らせ

国宝尚家衣裳11月の特別展示
琉球国王の衣裳
期 11月1日（金）～27日（水）

企画展 徳村光子寄贈資料展
夢見る琉球人形
～Dream of RyukyuDolls～
期 10月5日（土）～12月25日（水）

期 11月1日（金）～11月13日（水）
費 一般300円（11月3日のみ無料）
（企画展・特別展示共通）

開館時間 10時～19時　木曜休館　☎869-5266

那覇市歴史博物館 那覇の歴史・文化を体感！

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報
Okinawa　Blue & White　～沖縄が愛した青と白～

白い肌に青い釉薬で模様が描かれた陶磁器は、青花や染付け、Blue & white porcelain（ポーセリン）と呼ばれ、世界中で愛されてきました。本展では、琉球王国時代末期の最初期の青い釉薬から現代作家の作品まで、白い化粧土と青い釉薬をテーマに優れた作品を展示公開します。壺屋焼の筆致、技術力の高さ、多様性をご覧ください。

日 10月11日（金）～11月17日（日）　場 3階 企画展示室　費 無料

呉須絵菊花文花生
（沖縄市立郷土博物館蔵）

ギャラリートーク
「Okinawa Blue & White」の担当者が展示解説をいたします。
日 11月3日（日）午後2時から1時間程度
場 3階 企画展示室　費 無料　申 不要

11月3日（文化の日）は特別無料開館いたします！

学芸員と展示を見よう ～常設展ギャラリートーク～
日 11月17日（日）午後3時から30分程度　費 常設展の観覧料が必要です（市内の小・中・高校生は無料）　申 不要。当日、博物館1階受付前に集合してください。

壺屋焼物博物館
開館時間 10時～18時（入館は17時半まで）　☎862-3761
月曜休館　※ただし、月曜が祝日の場合は開館　FAX 862-3762

協働さん いらっしゃい！

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第32回 那覇市PTA連合会会長 大山 正さん

▲大山 正さん

今回ご紹介する協働大使の大山正さんは、21年にわたりPTAに関わり、学校、そして地域を見つめ続けています。

仕事の都合で那覇（寄宮）に引っ越してきた大山さんは、お子さんが入学した真和志小学校に「真和志小『父親の会』」という男性教諭と父親の親睦会があり、地域のことを知りたいとの思いから、会に参加します。親睦を重ねるうちに「PTAの役員をやってくれ」と頼まれたのが、PTA活動を始めるきっかけだったそうです。

以来、お子さんが中学、高校へと進学するたびにPTA役員として学校と子どもたちのパイプ役を果たしてこられました。大変ではありませんかとの問いには「楽しんでやってますよ。『大変』と書いて『大きく変わる』と読みますから。自分も成長させてもらっています」と一言。「親は自分の子どものことなら、一生懸命になれるけれど、いざPTAとして全体に関わることとなるとなかなか難しい。私は学校が良くなれば、自分の子どもにとってもいいことに繋がると思っていますから」とPTAに関わってきた思いを話しました。

“関心を持って”

平成24年度から、那覇市PTA連合会の会長を務めていますが、平成25年度の重点目標の中に「夜9時までには帰りましょう運動」を掲げています。夜型社会といわれる沖縄では、夜遅くまで、子どもを連れて外食をする家族を見かけます。「小さいこどもは親の都合に付き合わされています。親自身がそれに気付いて、早めに帰宅し、子どもの生活リズムを整えてあげることが学業や心身の健全な成長に繋がると思います」と、親の規範意識の改革を訴えます。「しかしながら、このことは個人だけでは難しいのも事実。県民全体で意識改革を行わないといけない」と、私達大人全員が関心をもって、「夜型容認」を変える必要性を語りました。

また、会長になられて、〝55（ゴーゴー）会長会〟という市内55の小中学校のPTA会長だけの情報交換会を開催するなど、横のつながりも図りながら、PTAを盛り上げていこうと取り組んでいます。

お問い合わせ　まちづくり協働推進課　☎881・3846

歴史まーい

▲玉陵東室側から

世界文化遺産 国指定重要文化財・史跡

「玉陵（たまうどぅん）」

玉陵は第二尚氏の歴代国王の墓で、尚真王が見上森に葬られていた父尚円王を移葬するために築きました。墓室は東室・中室・西室の三つで構成されています。創建当初の東室は王・王妃・世子（跡継ぎ）・世子妃が入り、西室には墓前の庭の玉陵碑に記されている限られた家族が葬られました。王の側室や幼くして亡くなった王子、王女を葬る墓は、玉陵とは別の首里山川町にある山川陵と首里儀保町西森にあった宝口陵（戦災消失）でした。沖縄戦が始まった一九四四（昭和一九）年八月、山川陵を日本軍が使用することになり、同陵内の遺骨は仮に玉陵の墓前の庭に移され、戦後さらに西室に移されました。したがって、現在の西室は、玉陵碑に記されている家族と山川陵に葬られた方々が混在していることになります。玉陵は沖縄戦で無惨に破壊されましたが、一九七四（昭和四九）年から三年あまりの歳月をかけて修復されました。王家の遺骨は修復後、再び墓室に安置されています。そのため、王家の厨子（遺骨がおさめられている甕）そのものを目にすることはできませんが、付属する資料館で写真にてご覧いただくことが可能です。資料館では、玉陵がたどってきた歴史や墓陵の内部構造がわかる模型もあわせて展示されています。

玉陵や資料館に入場する際は、通常ならば入場料がかかりますが、十一月三日（日）文化の日は、那覇市の文化に親しんでいただくため特別に無料開放しております。この機会にぜひご家族・ご友人と訪れてみてください。

※文化の日（十一月三日）は、玉陵以外に那覇市立壺屋焼物博物館・那覇市歴史博物館・識名園も無料開放しております。

お問い合わせ　文化財課　☎917・3501

うちなーぐちは あじくーたー

〈今月のテーマ〉 みーぐわっちー

〈出演〉市役所職員　儀間 優佳（右）　島袋 香織（左）
ロケ地：中華小料理専門店 西屋

みーぐわっちーとは、ご馳走を見ただけで食べた気持ちになること。

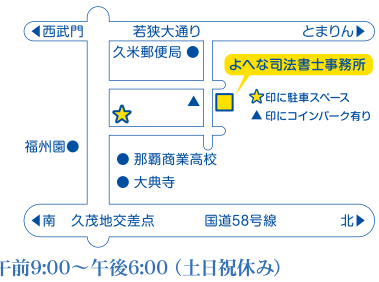
（例文）
ある日、友達みんなで美味しい中華料理屋へ出かけた時の事。おなかペコペコだったので、さあ戴こうとしたら、アイエーナーお箸（うめーし）ぬ無（ねー）やびらん。「もう、みーぐわっちーどう すがやー」と思っていたら友人の機転でお箸（うめーし）をもらい、クワッチーにないびたん。
むしか、みーぐわっちー しーねー寝んだらんたる筈やーたい。

（和訳）
○アイエーナー お箸（うめーし）ぬ無（ねー）やびらん。／あらまあ、お箸がございません。
○もう、みーぐわっちーどうすがやー／「もう見て食べた気持ちになるのかねー」

【お問い合わせ】
那覇市文化協会 うちなーぐち部会
玉那覇 朝子、名嘉山 秀信
☎090・4347・8798

司法書士が
無料で相談に応じます。

■ 相続、贈与と遺言
相続登記その他、家庭裁判所の手続き、遺言書作成など。
■ 成年後見
多数の後見人を務める司法書士が、実務をふまえて説明します。
■ 差押・仮差押・仮処分
預金、給料、売掛金、財産など、押さえたい方へ。
■ 日常生活の法的トラブル
商品の代金が払われない、貸したお金を返してくれない、敷金を返してもらえない、家賃を払ってくれないなど。ご相談ください。
■ 借金に関すること
■ 不動産登記
■ 会社の登記や企業法務



よへな司法書士事務所
〒900-0032 那覇市松山1-30-1 2F 営業時間：午前9:00～午後6:00（土日祝休み）
http://www.souzokuyuigon-okinawa.com
0120-309-157 ※相談には電話予約が必要です。
広告